



平成 22 年 10 月 29 日

各 位

上場会社名 株式会社電業社機械製作所  
 代 表 者 代表取締役社長 柳瀬 宜浩  
 (コード番号 6365)  
 問 合 せ 先 取締役常務執行役員  
 責 任 者 管理本部長 山本 昇  
 (TEL 055-975-8221)

## 第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 6 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)の業績予想(連結・個別)と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同じく平成 22 年 8 月 6 日に公表しました通期業績予想(連結・個別)についても修正しましたので、併せてお知らせします。

### 記

#### 1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期(累計)業績予想との差異

(1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値との差異(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,400	百万円 △610	百万円 △670	百万円 △470	円 銭 △103.29
今 回 実 績(B)	5,648	△423	△537	△415	△91.34
増 減 額(B-A)	△751	186	132	54	—
増 減 率(%)	△11.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	5,101	△461	△404	△278	△59.78

(2) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値との差異(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,300	百万円 △570	百万円 △620	百万円 △440	円 銭 △96.69
今 回 実 績(B)	5,488	△393	△502	△389	△85.68
増 減 額(B-A)	△811	176	117	50	—
増 減 率(%)	△12.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	4,944	△442	△381	△260	△55.93

(3) 差異が生じた理由(連結・個別)

- ①売上高の減少の主因は、前回上期に売上を想定していた物件の一部が、下期に繰延べられたためです。
- ②営業利益の好転主因は、上記①の売上高減少による売上総利益の減少にもかかわらず、販売費および一般管理費が減少したことに加え、コストも減少したためです。
- ③経常利益が営業利益の増加よりも少ない理由は、投資有価証券評価損が想定以上に増えて利益が減少したためです。

## 2. 平成23年3月期通期業績予想の修正について

### (1) 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,900	910	900	450	98.89
今回修正予想(B)	20,300	630	570	230	50.54
増減額(B-A)	△1,600	△280	△330	△220	—
増減率(%)	△7.3	△30.8	△36.7	△48.9	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	24,213	1,714	1,756	1,038	224.02

### (2) 平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,300	860	850	420	92.30
今回修正予想(B)	19,600	580	510	200	43.95
増減額(B-A)	△1,700	△280	△340	△220	—
増減率(%)	△8.0	△32.6	△40.0	△52.4	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	23,705	1,686	1,737	1,031	222.52

### (3) 修正の理由(連結・個別)

- ①売上高の減少は、大物物件が翌年度へ移動したためと、今年度に受注し、今年度中に売り上がる物件が減少したためです。
- ②営業利益の減少主因は、上記①の売上高減少による売上総利益の減少です。
- ③経常利益の減少主因は、上記②の営業利益の減少に加え、投資有価証券評価損を見込んだためです。

### 【注記事項】

上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。

以 上